

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2025年 3月 31日	
てとてのキッズ 保育所等訪問支援		利用児童数				2025年 2月時点 25名 回収数 24名	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	21	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 声掛けの仕方や活動を変えるタイミング等取り入れることができている。 毎回療育での様子や今後の課題など分かりやすく教えていただいています。 具体的な支援方法や実際にリハビリで使っている玩具や教材なども持ってきていただき、一つ一つ丁寧に説明していただき、園でも参考にさせていただいています。 回数頻度が多くなく、評価はしづらいです... てとてのキッズで行なわれている療育の内容や課題を色々な形（動画・写真）で見せて頂く為、様子が分かり、導入しやすい。 てとてのキッズで行なわれている療育の内容や課題を色々な形（動画・写真）で見せて頂く為、様子が分かり導入しやすいです。 本人も当園入園まもない時期に来園して頂き、園での様子をお話しすることができ良かったです。 療育での活動の様子を写真・動画で提示してもらい、良かったです。 時々、園生活の様子を見学して頂き、助言を頂きたいです。 	<p>【助言・アドバイスについて】</p> <p>引き続き、園や学校での課題に対して取り組みやすい内容や助言に努めていきたいと思えます。</p> <p>【利用頻度について】</p> <p>利用頻度については、訪問日に次回の調整をさせていただいております。訪問先の状況に合わせて訪問したいと考えておりますのでいつでもご連絡下さい。</p> <p>【直接支援について】</p> <p>時間の調整は柔軟に対応したいと考えています。次年度はサービス提供時間の検討も行っていきたいと思います。</p>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	20	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 回数頻度が多くなく、評価はしづらいです... 私達が知らない道具（視覚タイマー・バランスボードなど）の紹介をしてくださったり、専門的な知識をたくさん教えていただけるので有難いです。 私達が知らない道具（視覚タイマー・バランスボードなど）の紹介をしてくださったり、手作りの玩具も、意図や構成など教えて頂き、園でも作成して利用することができています。 本人の家庭へ持ち帰っている資料（その日分）を担任が見ることで園生活における参考となることがある。 療育での課題を写真などで知らせて頂く事で、活動の内容が分かりやすかったです。 1か月に1度から2か月に1度の訪問など、必要に応じて対応して頂いています。行事前などは訪問して様子を見て頂いています。 	<p>【利用頻度について】</p> <p>利用頻度については、ご要望に応じて対応していきたいと思えます。</p> <p>【知識・技術について】</p> <p>事業所で使用している道具等も用いながら園で取り組めることや障害の理解などを深める機会の提供に努めていきます。</p>	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	20	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 園に来ていただいて施設での様子や園での様子を聞いたり伝えたりする時間を設けていただいているので、アドバイス等も聞くことができ良いと思います。 困っていることや悩んでいることに親身になって話を聞いて回答していただいています。 こちらが質問した事に対して、松島先生、中森先生から様々な情報をいただきました。 質問に対して、どのような方法があるか提案してくださったり、様々なアイデアを教えてください、丁寧に御答頂いています。 毎回、質問に対して細やかにご回答頂いております。 専門的な部分で情報を提供してくださったり、また方法をご教授頂いています。 園での関わり方について、困っている時にすぐに連絡、相談が出来るようになればいいと思えます。 パニックになった際の具体的な手立てなど、アドバイス頂いた。 	<p>【園での関わりについて】</p> <p>園で困っておられる時にすぐに連絡、相談ができるような相談体制を整えていきたいと思えます。</p> <p>相談はいつでも対応いたします。お気軽に事業所までご連絡いただけたら幸いです。</p>	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できることが増え、落ち着いて活動できることが多くなったように感じます。 ・課題だったことも相談することができました。 ・保護者との本児に対する認識の違いで、ハッキリしない部分が保育士としてのどこまでの援助をしていいのか難しい ・一人ひとり子供の課題、発育状況の違いもあることと思しますので、簡単に解消、解決する事ではないと思いますが、これからも“てとて”様のサポートを受けながら、少しでも子供たちの支援ができればと願っています。 ・課題に対して情報を共有し、園とキッズで同じ方向からアプローチできる事で軽減されています。 ・児童は療育に通することで確実に成長を遂げています。睡眠等の課題があり、園生活での課題はこれからも支援を続けていきます。 ・回数を重ねることで園内・家庭・施設内での本人の成長を知ることができるため、今後の課題も見つけやすい。 ・療育でのかかわりを参考に園でも実施する事で軽減されました。 ・療育での課題や遊びを、園でも出来る事は参考にしながら取り入れています。 	【課題・お困りごと解消について】 園や学校でのお子様の集団での様子等の把握や先生方の課題感をお聞きすることで適切なアドバイス等ができるよう努めています。また、相互理解を深めることで園・事業所・ご家庭と役割分担を行いながら子ども達の育ちを支えられるような訪問支援でありたいと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	16	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足しています。 ・保護者は、「言語」での療育に行っていると思っている。しかし、療育の中では運動だったり知能の面でしている事が多いような気もしている。そのズレが園での調整が難しく…普通学級への進学を考えるなら出来ることを増やしていくべきだと思うが…何か診断名がつかのならばそちらに合わせて援助をしていくべきなのか…はつきりせず対応に困っていることが本心です。 ・1度しかなかったのも、もっとあると良いと思いました。 ・お忙しい中、訪問して頂き、キッズでの様子や経過もよく分かり、とても満足しています。 ・詳細にキッズの取り組みと児童の様子を聞くことが出来、新たな発見も多々あり、とても満足しています。 ・ぜひ施設における先生方のご意見やアドバイスをもっただけだと助かります。 ・本人の園での様子を見て頂く機会を増やして欲しいです。 ・療育での環境設定など、詳しく教えて頂いています。 	【療育について】 発達支援は5領域（①生活・健康 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性）に沿って療育が行われます。この5つはお互いに関連して成り立っており、重なる部分もありお子様ひとりひとりにあった療育を取り組んでいます。療育内容や園でお困り事などありましたら、いつでもご相談下さい。情報共有に努めて参りたいと思います。 【訪問時の対応について】 園での様子を観察する時間帯や先生方とお話し（助言等）させていただく内容について、次年度も改善に努めていきたいと思っています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校側の質問にわかりやすいアドバイスをさせていただき、ありがたかったです。 ・今後ともよろしくお願ひします。 対象児童の日頃の様子や支援者としての困り事をお話しさせていただきました。てとてのキッズ様での児童の様子を聞き、支援方法の参考にさせていただいたり、アドバイスをしていただいたりして、いつも有意義です。ありがとうございます。次年度もよろしくお願ひします。 ・療育中の様子を写真で見せていただけるのでわかりやすく、どんなことに取り組んでいるのかが伝わりやすくとても良いと思います。 ・保護者も交えて話ができる場があると良いと思います。 ・利用している園児の好きな物、遊びを用いたトレーニング法等をアドバイスいただき早速遊びの中に取り入れ楽しむ姿があります。定期的にお話しを聞いてくださりありがとうございます。 ・お忙しい中保育園を訪問していただきありがとうございます。毎回日頃の悩みを相談したり、質問に答えてアドバイスをいただいたりと、大変勉強になっています。4月からは年長児になり、就学前の大切な1年となりますので、てとてのキッズさん、保育所、保護者さんとさらに連携を深めながら本児を支援していけたらと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。 ・いつもありがとうございます。本人も毎回とても楽しみに通っており、支援員の方々のおかげだと思っております。送迎等で時々トラブルが起きるなどご迷惑おかけすることもあります。何かありましたら遠慮なくお伝え下さい。 ・事業所と学校（担任）の対応を同じように行えるようにすると良いと思います。 ・今後とも宜しくお願い致します。 ・迎えに来られている送迎スタッフの方とは、その日の様子・体調など事務連絡的な情報共有にとどまってしまう。もっと具体的な支援の仕方等、話せる時間を取るべきだったと感じています。 ・定期的に情報を共有することで、その時期の児童の様子から、成長に繋がっている事象や困り事などを発見することが出来、すぐに保育の中で配慮したり、試行することが出来ています。 ・入園当初、保護者の方の心配点について歯科（園医）先生のご意見もふまえ、施設より来園頂き話し合いをさせて頂いた。その後随分成長や改善も見られるようになった。今後も連携をとり本人・ご家族の不安が少なくなるようご指導いただければと考える。 ・療育と園と家庭との連携がもっととれるように出来れば良いと思います。 					<ul style="list-style-type: none"> 【情報共有・連携について】 保護者も交えて話ができる場というご意見がありました。来年度は、保護者・園（学校）・事業所相互理解と情報共有ができる場の設定に努めていきたいと思ひます。 【ご意見について】 たくさんのご意見ありがとうございました。次年度も、子どもの困りごとや課題の把握に努め、保育や教育の効果を最大限に引き出すために障害児の特性への理解を求め、接する際の対応の仕方などわかりやすくお伝えできるように努めていきます。また、子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる地域の様々な関係者や関係機関と連携しながら、子どもを中心に見守っていただけるような支援に努めていきたいと思ひます。 		